

(仮称) 仁木町子育て支援拠点施設整備構想

[概要版]

仁木町子育て・高齢者福祉支援拠点検討プロジェクトチーム

令和2年3月13日

目 次

1	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設整備構想策定について	1
（1）	整備構想策定の背景と目的	1
（2）	整備構想の位置づけと上位計画との関係	1
（3）	整備構想の策定手順と提案する事項	2
2	子育て支援の状況と子育て世代から意見・要望	2
（1）	仁木町における子育ての状況	2
（2）	仁木町内の子育て支援施設の状況	3
（3）	子育て支援体制の現状と今後の展開方向	6
3	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設整備の内容	7
（1）	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設のコンセプト	7
（2）	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設の概要	7
（3）	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設の規模	8
（4）	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設整備スケジュール	10
4	（仮称）仁木町子育て支援拠点施設建設候補地（検討）	11
（1）	建設候補地選定の考え方と要件	11
（2）	建設候補地一覧	12

1 (仮称)仁木町子育て支援拠点施設整備構想策定について

(1) 整備構想策定の背景と目的

近年の人口減少および少子高齢化の同時進行等の影響により、子どもや家庭を取り巻く環境の変化や、地域との関係の希薄化が進むなど、わが国の子育てを巡る環境は大きく変化しています。また、共働き世帯の増加など、子育て世代の働き方の変化に伴う、仕事と子育ての両立の難しさなども相まって、現在、子どもや子育て支援に対するニーズは非常に多様化しています。

こうした背景を受け、国では、平成24年度に「子ども・子育て関連3法」を制定し、平成27年度からは「すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために、すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるために」という考え方に基づく、新たな子ども・子育て支援制度を創設しました。

この状況の下、仁木町においては、「第5期仁木町総合計画」(平成23～令和2年度)、「仁木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27～令和元年度)、「仁木町子ども・子育て支援事業計画」(平成27～令和元年度)」に基づき、結婚・妊娠・出産・育児から教育に至る切れ目のない支援や、地域で子育てできる環境の整備等、本町の実情に即した総合的な子ども・子育て世代への支援に取り組んでおります。

一方、本町においては、定住者の住宅建設への支援をはじめとする地方創生の取組等により、町外からの転入者が増加していることから保育所及び放課後児童クラブ等の子育て支援施設の利用希望者が増加し、待機児童が発生していることや、令和元年10月からの「幼児教育・保育の無償化」に伴い利用者の増加が見込まれる中であって、「にき保育園舎」の老朽化、「仁木放課後児童クラブ施設」の狭隘化等、子育て支援施設に係る課題が顕在化しており、子育て関連施設の整備が喫緊の課題となっています。

このことから、「にき保育園」、「仁木放課後児童クラブ」、「地域子育て支援拠点 おおきな木」等の既存の子育て支援施設をベースに新たな子育て支援の拠点となる施設の整備を目指すこととし、建設に向けた検討に資するため、基本コンセプト、施設の内容・規模、整備スケジュール、建設候補地等を網羅する「(仮称)仁木町子育て支援拠点施設整備構想」を策定します。

(2) 整備構想の位置づけと上位計画との関係

第5期 仁木町総合計画 (2011～2020)

～ 安心して働くことができる保育環境の整備や、
安心して子を産み育てる環境づくりが求められている ～

仁木町まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015～2019)

～ いつまでも安心して暮らし、魅力的な子育て環境、教育環境づくりを図るため、結婚・妊娠・出産・育児から教育に至る切れ目のない支援と 地域で子育てできる仕組みづくりが必要 ～

仁木町子ども・子育て支援事業計画、仁木町過疎地域自立促進市町村計画、
仁木町公共施設等総合管理計画 等

(仮称)仁木町子育て支援拠点施設整備構想

第6期 仁木町総合計画(2021～2030)

(新) 仁木町まち・ひと・しごと総合戦略(2020～2024)

(新) 仁木町子ども・子育て支援事業計画

(3) 整備構想の策定手順と提案する事項

「(仮称)仁木町子育て支援拠点施設」の整備にあたり、子ども・子育てを巡る環境や、既存の子ども・子育て関連施設の状況などを検証し、子育て世代などからの意見や要望を聴取した上で、施設の目指す方向性、施設の内容、規模、建設候補地、供用開始後の管理運営等についての提案を行います。

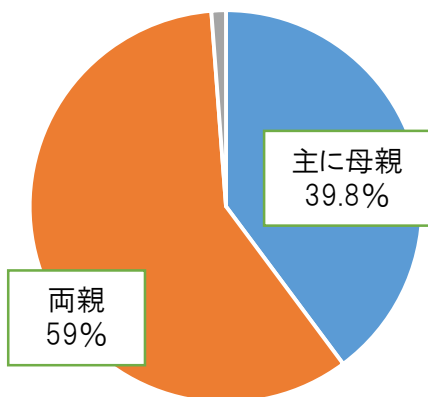
～ 提案する主な項目 ～

- 1 施設のコンセプト
- 2 整備する内容
- 3 施設の規模(必要とされる施設規模)
- 4 整備のスケジュール
- 5 建設候補地

2 子育て支援の状況と子育て世代から意見・要望

(1) 仁木町における子育ての状況

子育てを主に行っているのは…？



※仁木町子ども・子育てニーズ調査
(令和元年7月)から作成(仁木町)

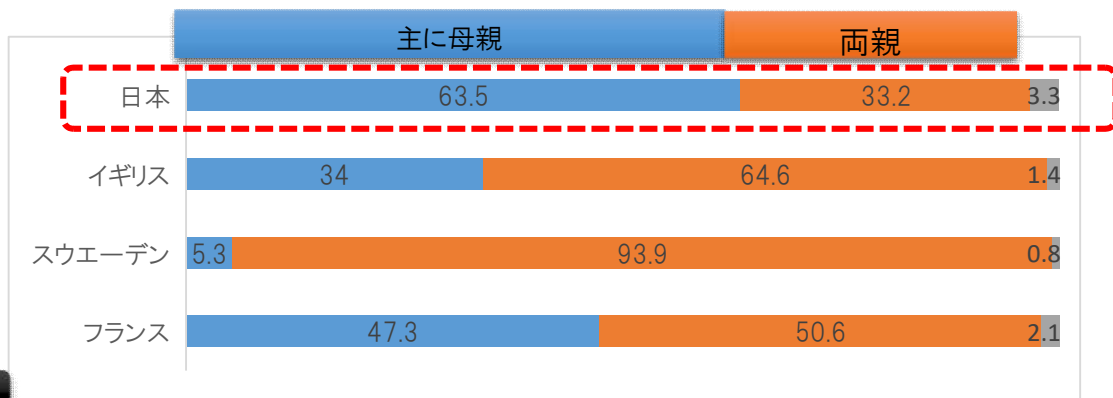
子どもの育児における夫・妻の役割を聞いたところ(単一回答)、仁木町では、「両親で行う」が約6割を占め、父親が子育てに参画する割合が全国平均より極めて高く、仁木町においては、両親が協働で子育てを行う家庭が多くなっています。

このことから、「保育所」、「放課後児童クラブ」等の子育てを支援する施設は、本町で子育てを行う上で、極めて重要な施設であり、女性の社会進出が進む中、一層の拡充が必要となっています。

《参考》平成27年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書(内閣府)

(2) 就学前の子ども育児における妻・夫の役割

小学校入学前の子ども育児における夫・妻の役割についての考えを聞いたところ、日本では「主に妻が行う」が63.5%となっている中、欧州各国では「夫も妻も同じように行う」が5割を超えており、特に、スウェーデンでは93.9%となっている。



(2) 仁木町内の子育て支援施設の状況

② 保育所の状況

町内には、1つの保育所と2つのへき地保育所があり、3施設で100名を定員として募集していますが、近年、「にき保育園」では定員を超える児童を受け入れており、待機児童が発生しています。

また、平成27年に大江コミュニティーセンターの建設により園舎を改築した大江へき地保育所を除く、2つの保育所の園舎は建築後40年以上を経過し、老朽化や狭隘化が見られています。

仁木町内における保育所の利用状況

年次	保育園			
	にき	大江	銀山	計
(定員)	(50名)	(20名)	(30名)	(100名)
2015	64名	14名	12名	90名
2016	67名	10名	10名	87名
2017	65名	11名	6名	82名
2018	66名	9名	8名	83名
2019	69名	7名	7名	83名

※ 2015～2018年 3月31日時点
2019年 令和元年7月17日時点

社会福祉法人よいち福社会 にき保育園

- ・運営形態 民設民営型（施設は仁木町所有）
- ・定員: 50名
- ・住所: 仁木町西町1丁目52番地
- ・電話番号: 0135-32-3000
- ・保育時間: 7時から18時（延長保育19時まで）
- ・園舎 昭和50年建設(44年経過)



仁木町立大江へき地保育所

- ・運営形態 指定管理者制度
- ・定員: 20名
- ・住所: 仁木町大江1丁目345番地1
- ・電話番号: 0135-32-3453
- ・保育時間: 8時から17時
- ・園舎 平成27年建設(3年経過)



仁木町立銀山へき地保育所

- ・運営形態 指定管理者制度
- ・定員: 30名
- ・住所: 仁木町銀山2丁目459番地
- ・電話番号: 0135-33-5156
- ・保育時間: 8時から17時
- ・園舎 昭和48年建設(46年経過)



② 放課後児童クラブ(学童保育)の状況

子育て支援のため、仁木町内の小学校に通う児童に対し、授業終了後及び学校休業日に遊びを主とする生活の場を与え、その健全な育成を図るため放課後児童クラブ(学童保育)を開設しています。

仁木放課後児童クラブでは、就労する保護者の増加等により利用する児童数が年々増加しており、定員を超える受入となっており、待機児童が発生しています。

放課後児童クラブの利用状況

年次	放課後児童クラブ		
	仁木	銀山	計
(定員)	(概ね40名)	(概ね19名)	(概ね59名)
2015	26名	8名	34名
2016	34名	6名	40名
2017	40名	10名	50名
2018	42名	9名	51名
2019	53名	10名	63名

※ 2015～2018年 3月31日時点
2019年 令和元年7月29日時点

仁木地区

- ・定員…概ね40名 指導員6名(予定)
- ・運営…仁木町社会福祉協議会(委託)
- ・開設場所…仁木町山村開発センター2階
- ・利用料月額…3,000円(生活保護・ひとり親世帯及び2人目以降については1,500円)
- ・開設時間
平日 午後1時30分から午後6時00分
一日開設日 午前8時30分から午後6時00分
一日開設日(夏季) 午前8時から午後6時00分

銀山地区

- ・定員…概ね19名 指導員2名(予定)
- ・運営…仁木町において運営
- ・開設場所…町営住宅 ぎんれい36 集会室
- ・利用料月額…3,000円(生活保護・ひとり親世帯及び2人目以降については1,500円)
- ・開設時間
平日 午後1時00分から午後5時00分
一日開設日 前8時00分 から午後5時00分

③ 地域子育て支援拠点 おおきな木の状況

「地域子育て支援拠点 おおきな木」は、子育て中の親子が気軽に集まり、親子同士の交流や、育児の不安についての相談、子育てに関する情報提供、子育て講習等のイベントを実施している施設で、仁木町の補助を受けて社会福祉法人よいち福祉会が運営しています。

- 経営主体 社会福祉法人よいち福祉会
- 設置 平成25年12月1日
- 住所 仁木町北町1丁目62番地
- 開設時間 毎週月、木、金曜日(9時30分～14時30分)
土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始は休館
- 職員構成 にき保育園より専属保育士が常勤

- 事業内容 交流の場の提供(平均5組/日の親子が利用)
子育て関連情報の提供
子育て講習会(月1回開催)
絵本の貸し出し(蔵書数1000冊)

- 施設の概要 民間木造住宅(一戸建)を改修
(居室4、調理室、便所、シャワー室等)



④ 「児童館」の設置等に関する子育て世代からの要望・意見

※仁木町子ども・子育てニーズ調査
(令和元年7月)から作成(仁木町)

(母親)
学校に上がった後の友達と遊ぶ場所が外か家しかないので、児童館は必要だと思う。

(母親)
無料で使用できる児童館がほしい。学童はあるけど、かなり金額が高い。

(母親)
児童館を作ってほしい。

(母親)
児童館など親子で安心して集まれる場所があったらとてもいい。イベントなどがあると、子供達は楽しく過ごせるのでは。

(母親)
小学生が安心して遊べる場所、室内アスレチック、習い事ができる場所もあるといい。

(母親)
放課後、子供たちが遊べる場所があると良い。

(母親)
放課後児童クラブ(学童保育)は働いている私達にとっては、とても助かり安心して預けることができますが、仁木には子供の集まる公園もなく、児童館があると子供たちにとっても自由に誰とでも遊ぶことができよと思います。もっと体を動かして遊べる場がほしい。

(父親)
児童館のようにフリーの利用できる場(特に土日)

(父親)
放課後、町民センター等の照明がついていない場所で友達と宿題等をしているのはかわいそう。

児童館の種類と運営いろいろ

一般財団法人児童健全育成推進財団HPより抜粋

児童館は大きく分けて3種に分類されています。地域密着型で広く地域全体をカバーする小型児童館、体育館などを備え、体力増進機能を持つ児童センター、主に都道府県が設置する大型児童館。それぞれが特長を活かし、地域の子どもたちのために活動しています。

児童館の種類

区分	小型児童館	児童センター		大型児童館		
		児童センター	大型児童センター	A型児童館	B型児童館	C型児童館 (こどもの城)
職員	児童厚生員2名以上	児童厚生員2名以上 体力増進指導員	児童厚生員2名以上 体力増進指導員 年長児童指導者	児童厚生員2名以上		
面積	217.6㎡以上	336.6㎡以上	500㎡以上	2000㎡以上	1500㎡以上	
設備	集会室、遊戯室、図書室、事務執行に必要な設備。必要に応じ、相談室、創作活動室及び静養室等 ※ただし、小型児童館は相談室・創作活動室等を設けない場合には、185.12㎡以上とする。	十年長児童用設備 (例えばスタジオ・トレーニング室小ホール等)	研修室、展示室、多目的ホール、ギャラリー等	+児童館設備、宿泊室、食堂、浴室、キャンプ設備必要に応じ、移動児童館車両	劇場、ギャラリー、屋内プール、コンピュータ・サイエンス展示室、宿泊研修室、児童遊園等	

・法的根拠…児童福祉法(昭和22年法律第164号)第40条

・設置運営…児童福祉施設最低基準(昭和23年厚生省令第63号) 児童:0歳~18歳未満

(3) 子育て支援体制の現状と今後の展開方向

現状と課題

保育所(にき保育園)

- 保育所に期待される役割の拡大
(量的拡充(待機の解消))
- 保育スタッフの確保
- 施設の老朽化・狭隘化 等

子ども居場所づくり (児童館の開設要望)

- 健全な遊びの場の確保や交友関係構築
- 児童を中心とする組織等の活動
- 子どもの安全な居場所 等

地域子育て支援拠点(おおきな木)

- 子育て支援拠点の役割の拡大
(支援機能の量的・質的拡充)
- 支援スタッフの確保
- 施設の狭隘・老朽化 等

学習・スポーツ・芸術サポート(公設民営塾要望)

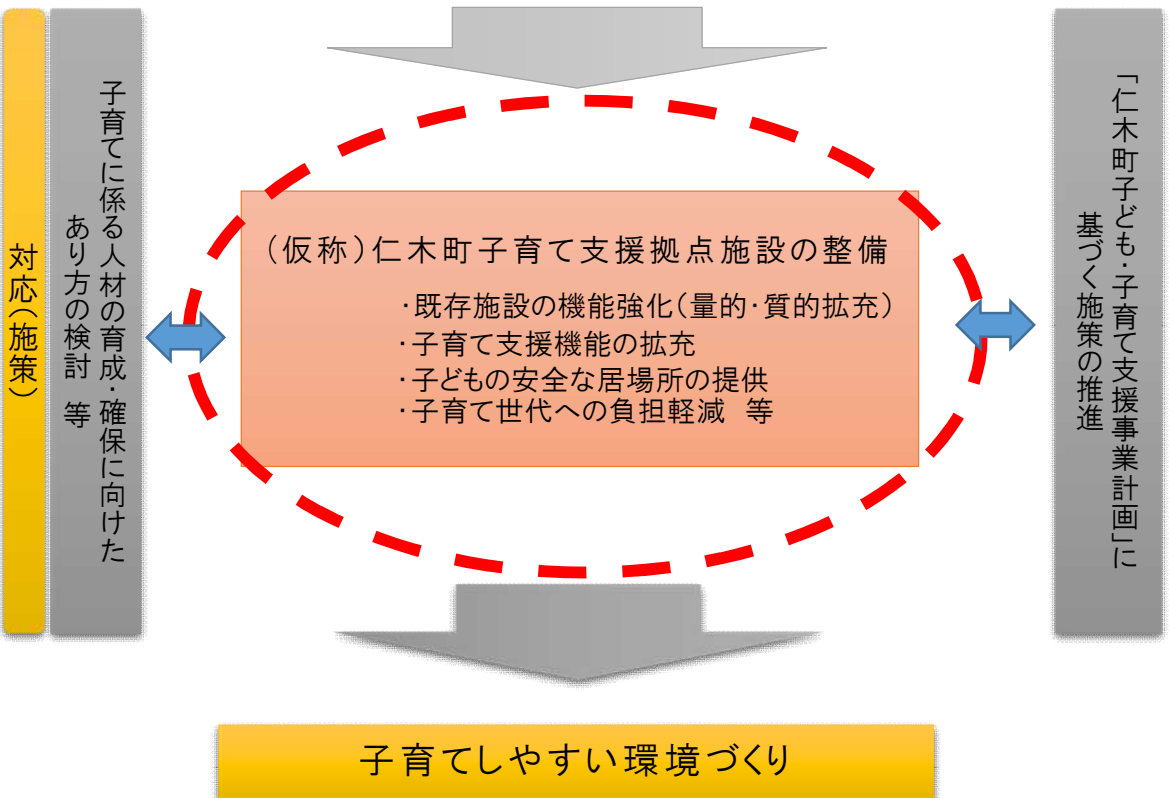
- 習い事への経済的・時間的負担
- 学びの場が無い 等

放課後児童クラブ(学童保育)

- 学童保育に期待される役割の拡大
(量的・質的拡充(待機の解消))
- 支援スタッフの確保
- 施設の狭隘化 等

既存施設の機能強化

新設・拡充



3 (仮称)仁木町子育て支援拠点施設整備の内容

(1) (仮称)仁木町子育て支援拠点施設のコンセプト

① トータル・コンセプト

遊びや学びを創造し、安心を支え、元気を生む 育て支援のプラットフォーム

ここに来れば、子育て世代が安心
地域のつながりを感じられる

子ども・子育て世代を中心に利用しやすい施設

・乳幼児等が安全・安心に過ごせる空間

・学童が学び、遊べる空間

・親子がともに学べる空間

・子育てや地域イベント等の情報発信による子育て支援

② 基本コンセプト

○居心地の良い空間(断熱性、空調、音響等)

○仁木の景観と融和したデザイン

○自然エネルギーの有効利用と省エネルギー
例) 地中熱を利用したヒートポンプ蓄熱 暖房
(夏期はフリークーリングによる涼(冷)房)

○安心・安全

例) ユニバーサルデザインの採用
床の段差の解消、転倒衝撃を緩和する床材
セキュリティ対策(不審者監視)の強化 等

○建設コストの低減

例) 施工方法・工期の工夫 等

○運用時におけるコストの縮減

例)外断熱+高断熱、高気密による省エネ化
自然光を取り入れ、照明エネルギーの削減
施設のランニングコストの低減 等

○災害対応

例)耐震性の向上、防火対策強化(任意スプリンクラー設置)、非常用発電機の設置 等

(2) (仮称)仁木町子育て支援拠点施設の概要

現行の施設

にき保育園

利用児童数:68名(0歳~就学前まで)
(令和2年1月末現在)
内容:一般保育、一時預かり、延長保育、障がい児保育、乳児保育

地域子育て支援拠点 おおきな木

子育て講習会、子育て相談・援助、親子の交流の場の提供、子育て情報の提供

放課後児童クラブ(仁木地区)

利用児童数:53名
(令和元年度最大数)
開設場所:仁木町山村開発センター2階

子育て支援

子育て支援

構 想

にき保育園

施設規模:80名(0歳~就学前まで)
内容:一般保育、一時預かり、延長保育、障がい児保育、乳児保育

拡充

地域子育て支援拠点 おおきな木

子育て講習会、子育て相談・援助、親子の交流の場の提供、子育て情報の提供
飲食スペース:ママカフェ

拡充

放課後児童クラブ(仁木地区)

施設規模:60名

拡充

公設民営塾(学習・英会話・音楽・ダンス等)

小型児童館

(子育て支援のネットワーク拠点)

新設

多目的室(公設民営塾・会議室等)

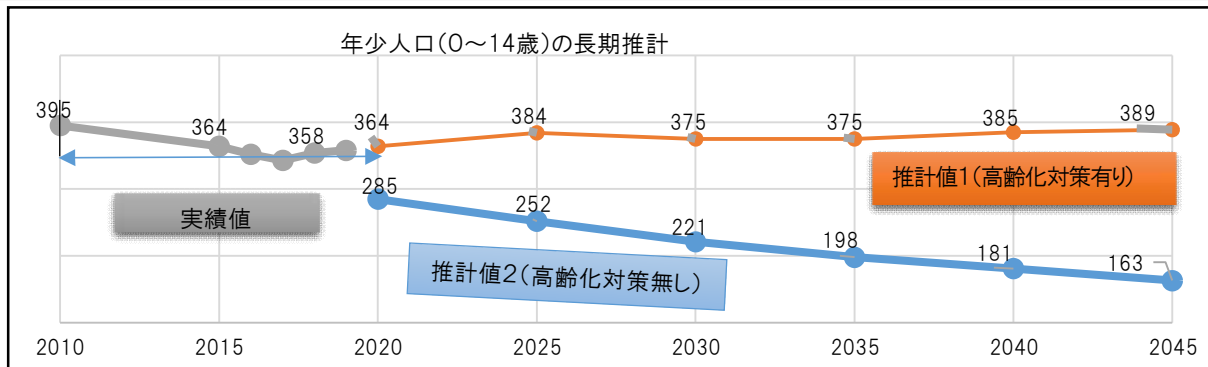
新設

(3) (仮称)仁木町子育て支援拠点施設の規模

① 保育所・放課後児童クラブの入所者数の推計

仁木町における年少人口の見通し(推計)

国立社会保障・人口問題研究所で作成した「日本の地域別将来人口推計」をベースに、2015年からの「仁木町まち・ひと・しごと創生 総合戦略(地方創生)」による「高齢化対策」による成果を基に、「推計値1(高齢化対策有り)」により推計される「年少人口」を用いて、保育所、放課後児童クラブの入所対象者を推計します。



推計値1(高齢化対策有り)

推計値2(高齢化対策無し)

区分	年次	総人口	年少人口		内園児		内学童	
			0~14歳	0~5歳	0~5歳	6~11歳		
実績値	2018	3,304	354	117	33%	151	43%	
	2019	3,268	358	124	35%	153	43%	
シミュレーション	2020	3,397	364	127	35%	157	43%	
	2025	3,207	384	134	35%	165	43%	
	2030	3,026	375	131	35%	161	43%	
	2035	2,861	375	131	35%	161	43%	
	2040	2,712	385	135	35%	166	43%	
	2045	2,577	389	136	35%	167	43%	

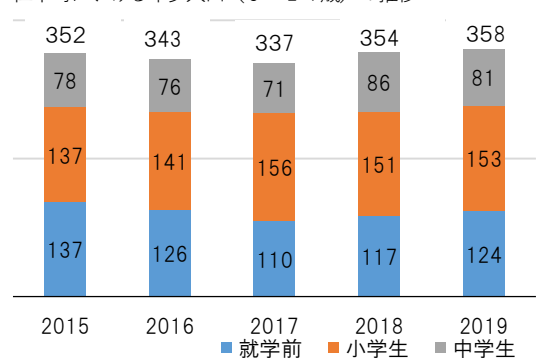
区分	年次	総人口	年少人口		内園児		内学童	
			0~14歳	0~5歳	0~5歳	6~11歳		
実績値	2018	3,304	354	117	33%	151	43%	
	2019	3,268	358	124	35%	153	43%	
シミュレーション	2020	3,318	285	100	35%	123	43%	
	2025	3,075	252	88	35%	108	43%	
	2030	2,837	221	77	35%	95	43%	
	2035	2,609	198	69	35%	85	43%	
	2040	2,389	181	63	35%	78	43%	
	2045	2,177	163	57	35%	70	43%	

施設規模に用いる対象者推計値

仁木町における年少人口の推移

区分	年次	年少人口		内園児		内学童	
		0~14歳	0~5歳	0~5歳	6~11歳		
実績値	2015	352	137	(39%)	137	(39%)	
	2016	343	126	(37%)	141	(41%)	
	2017	337	110	(33%)	156	(46%)	
	2018	354	117	(33%)	151	(43%)	
	2019	358	124	(35%)	153	(43%)	
	平均	349	123	(35%)	148	(42%)	
	最小値	337	110	(33%)	137	(41%)	
最大値	358	137	(38%)	156	(46%)		

仁木町における年少人口(0~14歳)の推移



現行の子育て支援施設(保育所・放課後児童クラブ)の収容員数の推移

年次	保育所							放課後児童クラブ					
	対象数	にぎ	大江	銀山	待機	計	利用率	対象数	仁木	銀山	待機	計	利用率
2015	137	64	14	12	0	90	66%	137	26	8	0	34	25%
2016	126	67	10	10	0	87	69%	141	34	6	0	40	28%
2017	110	65	11	6	0	82	75%	156	40	10	0	50	32%
2018	117	66	9	8	0	83	71%	151	42	9	0	51	34%
2019	124	69	7	7	4	87	70%	153	53	10	1	64	42%

子育て支援拠点施設の規模(試算値)

施設規模に用いる対象者推計値

区分	年次	総人口	年少人口 0~14歳	0~5歳		6~11歳	
				①	②	③	④
実績値	2018	3,304	354	117	33%	151	43%
	2019	3,268	358	124	35%	153	43%
シミュレーション	2020	3,397	364	127	35%	157	43%
	2025	3,207	384	134	35%	165	43%
	2030	3,026	375	131	35%	161	43%
	2035	2,861	375	131	35%	161	43%
	2040	2,712	385	135	35%	166	43%
2045	2,577	389	136	35%	167	43%	

保育所・放課後児童クラブ利用者の推計値

利用率 (過去5か年 最高値)	保育所(A)		放課後児童クラブ (B)	
	①	②	③	④
	75%		42%	

区分	保育所			放課後児童クラブ	
	にき(C)	大江	銀山	仁木(D)	銀山
施設別シェア (直近値)	84%	8%	8%	84%	16%

子育て支援拠点施設の規模(収容員数)

新たな にき保育園の規模(収容員数)

設定年(2035年(20年後)の) 乳幼児数(0~5歳) 131名 ……①
 保育園を利用する乳幼児の率 75% ……(A)
 にき保育園の利用率 84% ……(C)
 $131名 \times 0.75 \times 0.84 \approx 80名$ (現在71名)

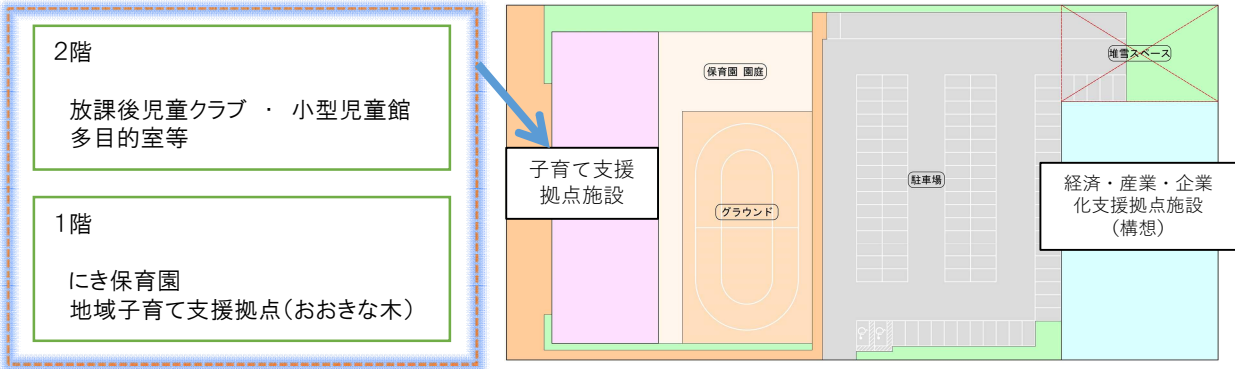
新たな 仁木放課後児童クラブの規模(収容員数)

設定年(2035年(20年後)の) 児童数(6~11歳) 161名 ……②
 放課後児童クラブ利用率(42%×1.1) 45% ……(B)
 仁木放課後児童クラブの利用率 84% ……(D)
 $161名 \times 0.45 \times 0.84 = 60名$ (現在53名)

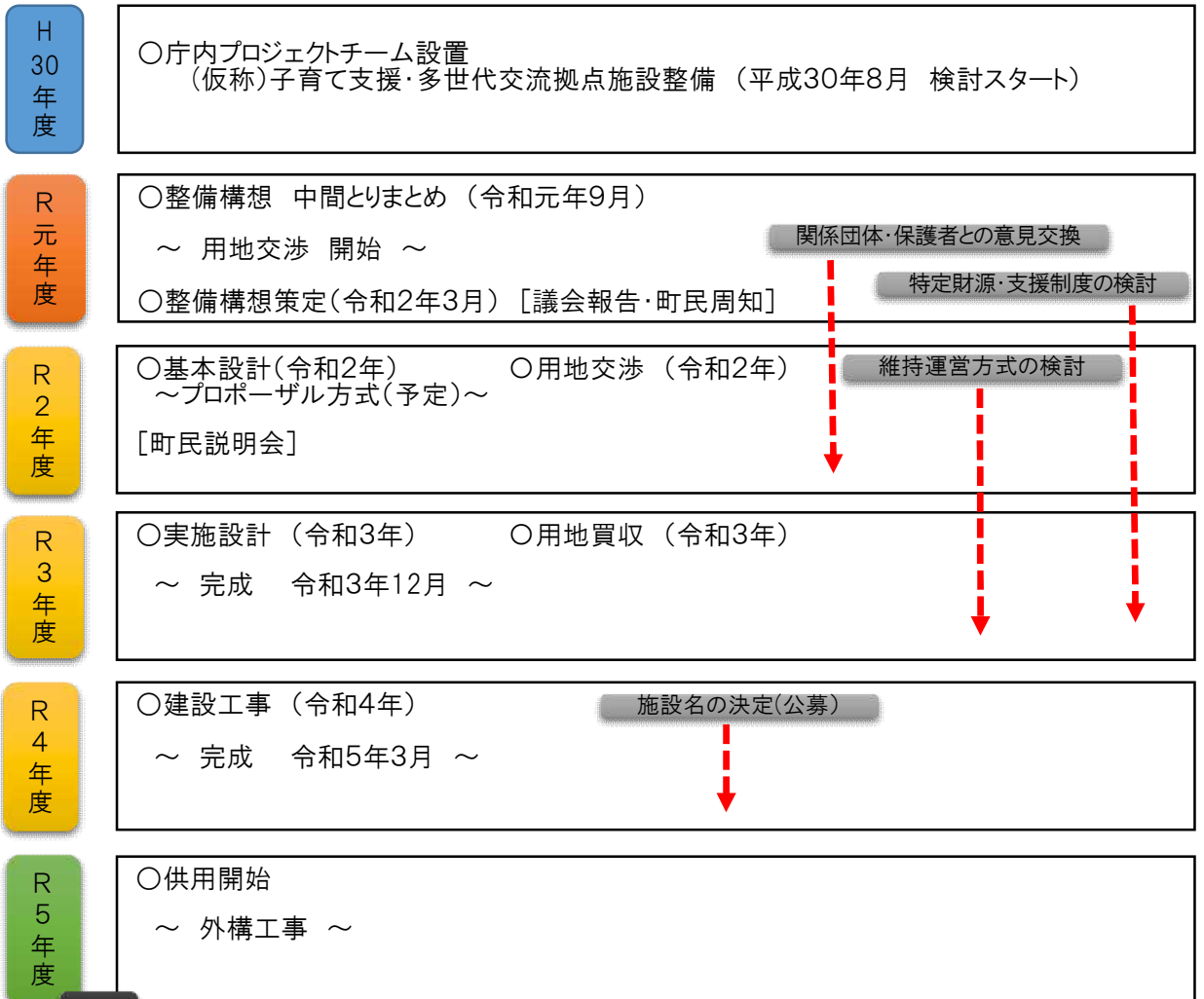
② 施設規模の内訳

施設名	現行			構想		
	定員 (実利用者)	床面積	内訳	施設規模	床面積	内訳
にき保育園	50名 (68名)	576㎡	保育室:46㎡×3室 ほふく室:35㎡ 遊戯室:116㎡ 厨房:35㎡ 更衣室:30㎡ 事務室:40㎡ その他	80名	900㎡	乳児室(0歳児保育室):22㎡ ほふく室(1歳児保育室):58㎡ 乳児用トイレ・沐浴室:11㎡ 2~5歳児保育室:36㎡×4室 異年齢活動室:60㎡ 多目的室(一時預かり保育):13㎡ 幼児用トイレ:43㎡ 医務室:5㎡ 遊戯室兼食堂:200㎡ (器具庫・ステージ含む) 厨房(事務室・食品庫等含む):54㎡ 職員室(園長室含む):57㎡ 会議室:38㎡ 相談室:4.5㎡×2室 職員玄関・更衣室・休憩室等:34㎡ その他(廊下・ホール・書庫等)
地域子育て支援拠点 (おおきな木)	10名 (月平均58名)	87㎡		10名	80㎡	おしゃべりルーム:14㎡ わくわくルーム:14㎡ 絵本ルーム:7㎡ ママカフェ・キッチン:15㎡ 洗面室・トイレ・シャワー室:14㎡ 授乳室:5㎡
仁木放課後児童クラブ	40名 (46名)	81㎡	第2研修室 (格技室):37㎡ 第3研修室:44㎡	60名	200㎡	居室A:70㎡ 居室B:70㎡ 静養室・支援員室・休憩室:20㎡ キッチン・水呑・手洗:14㎡
小型児童館					190㎡	フリースペース:173㎡ 指導員室:5㎡ 物入含む
多目的室 (公設塾・会議室・相談室)				20名	60㎡	
共用部					270㎡	ホール・廊下・階段・EV・機械室等
合計		744㎡			1,700㎡	

子育て支援拠点イメージ (バース)



(4) (仮称)仁木町子育て支援拠点施設整備スケジュール



4 (仮称)仁木町子育て支援拠点施設建設候補地(検討)

(1) 建設候補地選定の考え方と要件

■基本的考え方

建設地の選定にあたっては、利用者の利便性、学校等との連携のほか、環境、経済面など総合的な観点から評価した上で、選定する。

■建設地として要件

1 安全な環境

- (1) 地震、洪水、陥没等の自然災害に対して安全であること。
- (2) 建物、屋外運動施設等を安全に設定できる地質及び地盤であるとともに、危険な埋蔵物や汚染のない土壌。
- (3) 施設に接する道路の幅員、接する部分の長さ等を考慮し、緊急時の避難、緊急車両の進入等に支障のないこと。
- (4) 保育に支障を及ぼし、乳幼児・児童等の健康や安全を損なうような騒音、振動、臭気等を発生する事業所や車の出入りの頻繁な施設等が周辺に立地していないこと。

2 健康で文化的な環境

- (1) 良好な日照、空気及び水を得ることができ、排水の便が良好であることが重要である。
- (2) 見晴らしや景観が良く、近隣に、医療機関、小学校、行政機関、文化的な施設等があること。

3 適正な面積及び形状

- (1) 施設、庭に対する現在及び将来の施設需要に十分対応できる面積であること。
- (2) 施設、庭等を適切に配置し、有効に利用できるまとまりのある形状であること。

4 アクセス

- (1) 自家用車、徒歩、自転車による来所を想定し、年間を通じて安全な導線と十分な待機、駐車スペースを確保できること。
- (2) 町内全域からの利用を想定し、公共交通(中央バス、JR、仁木町予約制バス)での利用が可能となること。

建設候補地として必要となる面積

(仮称)仁木町子育て支援拠点施設

7,000㎡程度 (延べ7,700㎡)

施設本体(2階建) 1,000㎡(延べ1,700㎡)程度

屋外遊び場(保育園) 500㎡程度
小グランド(放課後児童クラブ・児童館) 1,000㎡程度

緑地スペース(芝生・樹木の植栽) 1,500㎡程度

駐車場(125台程度・イベント広場としても使用) 3,000㎡程度

参考 類似施設の敷地面積
るすつ子どもセンター 6,300㎡ そうべつ子どもセンター 10,414㎡

(構想) 経済・産業・企業化支援拠点施設

1,000～2,000㎡程度

参考 町内経済・産業関係施設等の規模(延べ概要面積)
商工会200㎡、JA本所1,200㎡ 信金仁木支店1,000㎡
保健センター事務室(社会福祉協議会事務室 40㎡)
観光管理センター事務室(観光協会事務室 200㎡)

8,000～9,000㎡程度

(2) 建設候補地一覧

区分	候補検討地	地権者	面積	所見	
				長所	短所
検討地点①	仁木町西町1丁目52番地 (水泳プール、ゲートボール場等)	仁木町	6,000㎡	○小学校、役場に至近 ○町中心部に位置し、利便性が高い ○町有地の有効活用が図られる ○老朽施設(プール)等の一体的整備が可能	○袋小路のため導線(道路)の整備が必要 ○防災関係施設の移設が必要 ○プール、陶芸教室等の撤去が必要
検討地点②	仁木町東町1丁目9番地1 (町営住宅みずほ32隣地)	仁木町	15,814㎡	○用地が広い ○町中心部に位置し、利便性が高い ○町有地の有効活用が図られる	○小学校、役場から遠い ○連絡道路の整備が必要
検討地点③	仁木町西町1丁目66番地 (学校給食共同調理場隣地)	仁木町	3,300㎡	○小学校、役場に至近 ○町中心部に位置し、利便性が高い ○町有地の有効活用が図られる	○用地が狭い ○山村開発センター及び地域の堆雪スペースとして利用 ○小学校行事等の駐車スペースとして利用
検討地点④	仁木町西町1丁目52番地 (現 にき保育園敷地)	仁木町	2,835㎡	○小学校、役場に至近 ○町中心部に位置し、利便性が高い ○町有地の有効活用が図られる	○用地が狭い ○建設期間中の仮設園舎が必要
検討地点⑤	仁木町	民有地	約9,000㎡	○用地が広い ○小学校、役場に至近 ○町中心部に位置し、利便性が高い ○安全な動線の確保が容易	○用地買収が必要
検討地点⑥	仁木町	民有地	約9,000㎡	○用地が広い ○小学校、役場に至近 ○町中心部に位置し、利便性が高い ○安全な動線の確保が容易	○用地買収が必要
検討地点⑦	仁木町	民有地	約4,000㎡	○小学校、役場に比較的近い ○町中心部に位置し、利便性が高い ○安全な動線の確保が可能	○用地買収が必要

建設候補地としての検討結果一覧表

区分	場所	建設候補地としての要件				総合評価	譲渡の可能性
		安全な環境	健康で文化的な環境	適正な面積及び形状	利用者のアクセス		
検討地点①	仁木町西町1丁目52番地	△	△	×	○	×	-
検討地点②	仁木町東町1丁目9番地1	△	×	○	×	×	-
検討地点③	仁木町西町1丁目66番地	○	○	×	○	×	-
検討地点④	仁木町西町1丁目52番地	○	○	×	○	×	-
検討地点⑤	仁木町西町1丁目 33番地～34番地	○	○	○	○	○	×
検討地点⑥	仁木町西町1丁目 46番地～49番地	○	○	○	○	○	○
検討地点⑦	仁木町北町1丁目 23番地・25番地	△	△	×	○	×	○



(仮称)仁木町子育て支援拠点施設
建設予定地

西町1丁目46~49
(面積:9,158㎡)

にき保育園

仁木小学校

仁木町役場庁舎

《参考》建設費の目安 (本体+外構工事)

【仁木町子育て支援拠点施設 概算建設費の算定】

○子育て関連の道内類似施設の建設費について

- A) 夕張市認定こども園 (RC造 平屋) (R1~2)
建設費 (外構工事費を除く) 523,600,000円(税抜き)
延べ面積 1,149㎡
㎡当たりの建設費 456,000円/㎡
- B) 札幌市厚別区子育て支援センター (RC造 平屋)
(H29~30)
建設費 (外構工事費を除く) 596,897,000円(税抜き)
延べ面積 1,090㎡
㎡当たりの建設費 548,000円/㎡
- C) 上砂川町認定こども園等複合施設 (RC造 平屋) (H30)
建設費 (外構工事費を除く) 545,000,000円(税抜き)
延べ面積 1,068㎡
㎡当たりの建設費 510,000円/㎡
- D) 上ノ国町子ども支援センター (RC造 平屋) (R1~2)
建設費 (外構工事費を除く) 841,530,000円(税抜き)
※杭長が50mあり杭地業工事費が通常より高額となっているため、工事費の調整を行う。

全体建設費	841,530,000円(税抜き)
杭地業工事費	-78,000,000円
本工事の杭地業工事費 (想定)	35,000,000円
調整後	798,530,000円(税抜き)

延べ面積	1,660㎡
㎡当たりの建設費	481,000円/㎡

○概算建設費の算出

A) から D) までの道内類似施設の建設費をもとに、㎡当たりの概算建設費を算出
⇒ 500,000円/㎡ (税抜き)

外構工事について、駐車場、園庭、植栽、フェンス等の造成を見込み、道内類似施設を参考に概算工事費を算出 (遊具分は除く)
⇒ 50,000,000円 (税抜き)

概算建設費

仁木町子育て支援拠点施設	
施設規模	延べ床面積1,700㎡ (RC造見込み)
概算建設費	1,700㎡×500,000円/㎡
	=850,000,000円
概算外構工事費	50,000,000円
合計	900,000,000円
概算建設費 (税込み)	990,000,000円

【財源の検討】

- ・子ども・子育て支援整備交付金(国庫補助金)
放課後児童クラブ 基準額30212千円×1/3=10,070千円
- ・次世代子育て支援対策施設整備交付金(国庫補助金)
地域子育て支援拠点 基準額 8,330千円×1/2= 4,165千円
小型児童館 基準額13,748千円×1/3= 4,582千円
- ・社会福祉施設整備費補助金(道補助金)
放課後児童クラブ、小型児童館 ※上記国庫補助金と同額
- ・過疎債
事業費の70%が基準財政需要額算入